

【病院事業】

2 病 院 事 業

(1) 業務実績

病院事業では、緑市民病院の経営を行っており、平成24年 4月から利用料金制による指定管理者制度を導入している。

なお、令和 2年度まで病院事業で経営していた東部医療センター等については、令和 3年 4月 1日に大学附属病院化したが、大学附属病院化に係る経理の一部は令和 3年度に処理されている。

(2) 予算執行状況

ア 収益的収入及び支出

令和 3年度の予算執行状況は第 1表のとおりである。

第 1 表 予算決算対照表（収益的収入及び支出）

(収入)						
科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に比べ 決算額の増△減	収入率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
収 益 的 収 入	42,724,412	100	42,921,024	100	196,612	100.5
医 業 収 益	10,408	0.0	7,409	0.0	△ 2,998	71.2
医 業 外 収 益	365,521	0.9	347,483	0.8	△ 18,037	95.1
特 別 利 益	42,348,483	99.1	42,566,131	99.2	217,648	100.5
(支出)						
科 目	予 算 額		決 算 額		不 用 額	執行率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
収 益 的 支 出	52,821,266	100	53,235,190	100	△ 413,924	100.8
医 業 費 用	527,471	1.0	490,860	0.9	36,610	93.1
医 業 外 費 用	14,587	0.0	12,320	0.0	2,266	84.5
特 別 損 失	52,279,208	99.0	52,732,010	99.1	△ 452,802	100.9

収益的収入は、予算額 427億 2,441万円に対し決算額は 429億 2,102万円で、予算額に対し 100.5%の収入率である。

収益的支出は、予算額 528億 2,126万円に対し決算額は 532億 3,519万円で、予算額に対し 100.8%の執行率である。なお、特別損失の決算額は予算額を超えているが、これは、東部医療センター等の大学附属病院化にあたって資産を譲渡したことに伴う譲渡損等の計上によるものであり、現金の支出を伴わない費用執行である。

イ 資本的収入及び支出

令和 3年度の予算執行状況は第 2表のとおりである。

第 2 表 予算決算対照表（資本的収入及び支出）

(収入)						
科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に比べ 決算額の増△減	収入率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
資 本 的 収 入	206,245	100	101,242	100	△ 105,002	49.1
企 業 債	100,000	48.5	0	0	△ 100,000	0
一般会計補助金	101,243	49.1	101,242	100	△ 0	100.0
基金収入	2	0.0	0	0	△ 2	0
その他資本収入	5,000	2.4	0	0	△ 5,000	0

(支出)						
科 目	予 算 額		決 算 額		不用額	執行率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
資 本 的 支 出	281,203	100	272,763	100	8,439	97.0
建設改良費	100,000	35.6	96,563	35.4	3,436	96.6
償 還 金	176,201	62.7	176,200	64.6	0	100.0
投 資	5,002	1.8	0	0	5,002	0

資本的収入は、予算額 2億 624万円に対し決算額は 1億 124万円で、予算額に対し 49.1%の収入率である。これは、建設改良に充てる企業債を発行しなかったこと等によるものである。

資本的支出は、予算額 2億 8,120万円に対し決算額は 2億 7,276万円で、予算額に対し 97.0%の執行率である。

主な建設改良事業

病院情報システムの購入 9,636万円

なお、資本的収入額 1億 124万円と資本的支出額 2億 7,276万円の差額 1億 7,152万円については、留保資金等が充てられている。

【病院事業】

(3) 経営成績

ア 損益の状況

令和 3年度と令和 2年度の比較損益計算書（要約）は第 3表のとおりである。

第 3 表 比較損益計算書（要約）

区 分	令和 3年度		令和 2年度		比 較 増 △ 減	前 年 度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
医 業 収 益	7,016	0.0	28,045,370	68.2	△ 28,038,353	0.0
入 院 収 益	0	0	17,855,377	43.4	△ 17,855,377	0
外 来 収 益	0	0	8,498,037	20.7	△ 8,498,037	0
一 般 会 計 負 担 金	3,087	0.0	1,032,932	2.5	△ 1,029,845	0.3
そ の 他	3,929	0.0	659,021	1.6	△ 655,092	0.6
医 業 外 収 益	347,287	0.8	7,447,538	18.1	△ 7,100,251	4.7
一 般 会 計 補 助 金	208,639	0.5	3,379,352	8.2	△ 3,170,712	6.2
国 庫 補 助 金	0	0	192,888	0.5	△ 192,888	0
県 補 助 金	1,929	0.0	2,219,290	5.4	△ 2,217,361	0.1
長 期 前 受 金 戻 入	108,129	0.3	1,237,073	3.0	△ 1,128,943	8.7
そ の 他	28,588	0.1	418,934	1.0	△ 390,345	6.8
経 常 収 益	354,303	0.8	35,492,909	86.3	△ 35,138,605	1.0
特 別 利 益	42,565,691	99.2	5,612,118	13.7	36,953,572	758.5
総 収 益	42,919,995	100	41,105,028	100	1,814,967	104.4

区 分	令和 3年度		令和 2年度		比 較 増 △ 減	前 年 度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
医 業 費 用	489,161	0.9	33,783,838	94.1	△ 33,294,677	1.4
人 件 費	28,565	0.1	16,391,002	45.7	△ 16,362,436	0.2
材 料 費	0	0	7,789,310	21.7	△ 7,789,310	0
減 価 償 却 費 等	234,133	0.4	4,330,261	12.1	△ 4,096,128	5.4
経 費	226,462	0.4	4,976,813	13.9	△ 4,750,351	4.6
そ の 他	0	0	296,450	0.8	△ 296,450	0
医 業 外 費 用	13,079	0.0	1,734,306	4.8	△ 1,721,227	0.8
支 払 利 息 及 び	11,333	0.0	469,678	1.3	△ 458,344	2.4
企 業 債 取 扱 諸 費	1,745	0.0	1,264,627	3.5	△ 1,262,882	0.1
そ の 他	502,240	0.9	35,518,145	98.9	△ 35,015,904	1.4
経 常 費 用	502,240	0.9	35,518,145	98.9	△ 35,015,904	1.4
特 別 損 失	52,731,956	99.1	378,988	1.1	52,352,968	13,913.9
総 費 用	53,234,197	100	35,897,133	100	17,337,064	148.3

医 業 損 益	△ 482,144		△ 5,738,468		5,256,323	8.4
経 常 損 益	△ 147,936		△ 25,235		△ 122,700	586.2
当 年 度 純 損 益	△ 10,314,201		5,207,895		△ 15,522,096	—
未 処 理 欠 損 金	△ 18,357,992		△ 8,043,790		△ 10,314,201	228.2

（注）医業費用の構成内容は75ページを参照。

総収益は、429億 1,999万円で、前年度に比し 4.4%、18億 1,496万円増加しており、
総費用は、532億 3,419万円で、前年度に比し48.3%、173億 3,706万円増加している。
この結果、当年度の純損失は 103億 1,420万円となった。

イ 収益及び費用の状況

① 経常損益

経常収益は 3億 5,430万円で、前年度に比し99.0%、 351億 3,860万円減少している。また、経常費用は 5億 224万円で、前年度に比し98.6%、 350億 1,590万円減少している。主な理由は、東部医療センター等の大学附属病院化によるものである。

② 特別損益

特別利益は 425億 6,569万円で、東部医療センター等の大学附属病院化による負債の移管に伴う譲渡益等である。

特別損失は 527億 3,195万円で、東部医療センター等の大学附属病院化による資産の出資に伴う譲渡損等である。

【病院事業】

(4) 財政状態

ア 資産・負債・資本の状況

令和 3年度末と令和 2年度末の比較貸借対照表（要約）は第 4表のとおりである。

第 4 表 比較貸借対照表（要約）

科 目	令和 3年度末		令和 2年度末		比 較 増 △ 減	前 年 度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
固 定 資 産	2,313,517	44.3	53,915,129	85.7	△ 51,601,612	4.3
建 物	1,855,707	35.6	37,575,323	59.7	△ 35,719,615	4.9
流 動 資 産	2,906,079	55.7	8,973,905	14.3	△ 6,067,826	32.4
現 金 預 金	2,776,716	53.2	2,645,637	4.2	131,079	105.0
未 収 金	129,362	2.5	6,178,763	9.8	△ 6,049,400	2.1
資 産 合 計	5,219,596	100	62,889,035	100	△ 57,669,438	8.3
固 定 負 債	568,836	10.9	38,625,279	61.4	△ 38,056,443	1.5
企 業 債	568,836	10.9	32,937,088	52.4	△ 32,368,252	1.7
そ の 他 固 定 負 債	0	0	5,610,516	8.9	△ 5,610,516	0
流 動 負 債	413,281	7.9	8,045,824	12.8	△ 7,632,542	5.1
企 業 債	142,906	2.7	2,089,065	3.3	△ 1,946,158	6.8
未 払 金	265,374	5.1	4,337,664	6.9	△ 4,072,289	6.1
引 当 金	0	0	935,669	1.5	△ 935,669	0
そ の 他 流 動 負 債	5,000	0.1	625,903	1.0	△ 620,903	0.8
繰 延 収 益	372,820	7.1	2,039,071	3.2	△ 1,666,251	18.3
長 期 前 受 金	372,820	7.1	2,039,071	3.2	△ 1,666,251	18.3
負 債 合 計	1,354,937	26.0	48,710,175	77.5	△ 47,355,237	2.8
資 本 金	19,873,485	380.7	19,873,485	31.6	0	100
剰 余 金	△ 16,008,826	△ 306.7	△ 5,694,624	△ 9.1	△ 10,314,201	281.1
資 本 剰 余 金	2,349,166	45.0	2,349,166	3.7	0	100
欠 損 金	△ 18,357,992	△ 351.7	△ 8,043,790	△ 12.8	△ 10,314,201	228.2
資 本 合 計	3,864,658	74.0	14,178,860	22.5	△ 10,314,201	27.3
負債・資本合計	5,219,596	100	62,889,035	100	△ 57,669,438	8.3

① 資産

資産合計は、52億 1,959万円で、前年度末に比し91.7%、 576億 6,943万円減少している。

主な変動理由

(固定資産)

建物 357億 1,961万円の減少 東部医療センター等の大学
附属病院化等による

(流動資産)

未収金 60億 4,940万円の減少 同上

② 負債

負債合計は13億 5,493万円で、前年度末に比し97.2%、473億 5,523万円減少している。

このうち、企業債は固定負債と流動負債を合計すると7億 1,174万円であり、東部医療センター等に係る企業債を一般会計に移管したこと等により、前年度末に比し98.0%、343億 1,441万円減少している。また、その他固定負債、その他流動負債についても、陽子線治療センターの整備に係る長期割賦金の前年度末残高62億 3,141万円を一般会計に移管したことから、それぞれ減少している。

③ 資本

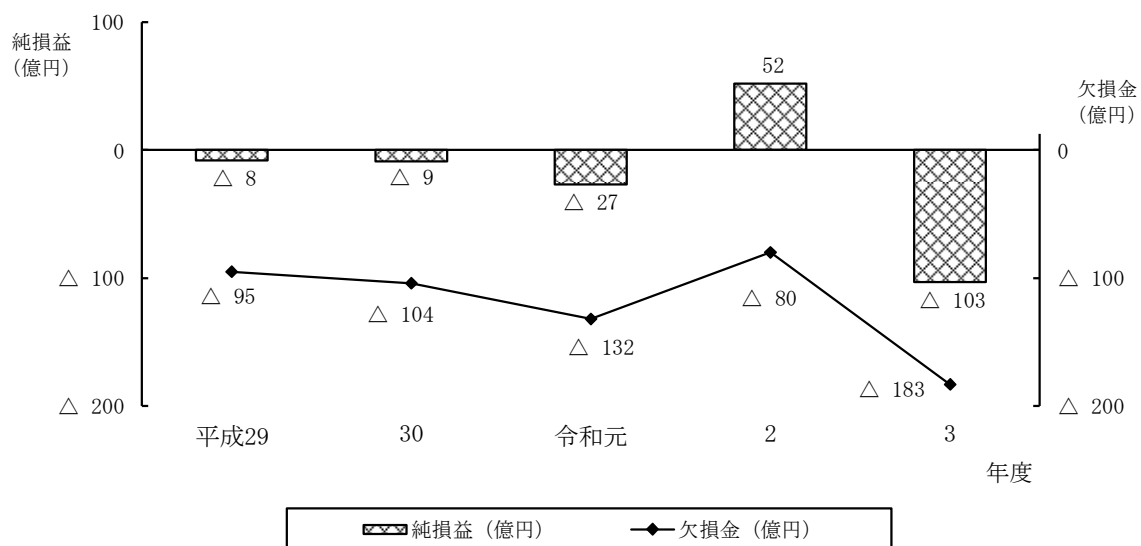
資本金は198億 7,348万円で、前年度末と同額である。

欠損金は183億 5,799万円で、当年度純損失の計上により前年度末に比し128.2%、103億 1,420万円増加している。

イ 欠損金の推移

欠損金の推移は第1図のとおりである。

第1図 欠損金の推移



当年度は純損失を計上しているため、欠損金は増加している。

【病院事業】

(5) 資金状況

令和 3年度のキャッシュ・フロー計算書（要約）は第 5表のとおりである。

第5表 キャッシュ・フロー計算書（要約）

科 目	令和 3年度
	千円
業務活動によるキャッシュ・フロー	887,351
当年度純損失	△ 10,314,201
減価償却費等	234,133
引当金の増減額（△は減少）	△ 1,095,853
長期前受金戻入	△ 108,129
事業譲渡損益（△は益）	10,303,639
未収金・未払金の増減額	1,899,239
その他	△ 31,476
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 250,543
固定資産の取得による支出	△ 378,620
他会計からの繰入金による収入	101,547
その他	26,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 505,728
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 176,200
長期割賦金の支出	△ 326,777
その他	△ 2,751
資金増加額（又は減少額）	131,079
資金期首残高	2,645,637
資金期末残高	2,776,716

（注）資金は貸借対照表における現金預金と同範囲である。

業務活動によるキャッシュ・フローでは、当年度純損失を計上しているが、実際に現金の収入や支出を伴わない減価償却費等や事業譲渡損益等を加味すると 8億 8,735万円の資金が増加した。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、前年度に実施した工事等に起因する固定資産の取得による支出等により 2億 5,054万円の資金が減少した。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、長期割賦金の支出等により 5億 572万円の資金が減少した。

この結果、前年度末に比し、1億 3,107万円の資金が増加し、期末残高は27億 7,671万円となっている。

(6) 一般会計からの繰入金について

地方公営企業繰出金の基準（以下「繰出基準」という。）により、一般会計から繰り入れた金額は第 6 表のとおりである。

（注）繰出基準とは、地方公営企業法等に定める経営に関する基本原則を堅持しながら、地方公営企業の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化するため、一般会計が繰り出しを行う場合の基準となる基本的な考え方を、総務省が定めたものである。

第 6 表 繰出基準による一般会計からの繰入金

事 項	令和 3 年度	令和 2 年度	比較増△減	備 考
	千円	千円	千円	
一 般 会 計 補 助 金	309,881	4,558,688	△ 4,248,806	
収益的収入	208,639	3,379,352	△ 3,170,712	
医業外収益	208,639	3,379,352	△ 3,170,712	
経営費補助金	208,639	2,812,473	△ 2,603,833	
陽子線治療センター運営負担金 *1	0	566,879	△ 566,879	* 1 陽子線治療センターの運営に係る経費
資本的収入	101,242	1,179,335	△ 1,078,093	
整備費補助金 *2	101,242	1,101,823	△ 1,000,581	
陽子線治療センター運営負担金 *1	0	77,512	△ 77,512	* 2 建設改良費及び企業債償還金の一部
一 般 会 計 負 担 金	3,087	1,081,658	△ 1,078,571	
収益的収入	3,087	1,081,658	△ 1,078,571	
医業収益	3,087	1,022,132	△ 1,019,045	
救急医療及び保健衛生行政事務負担金	3,087	1,022,132	△ 1,019,045	
医業外収益	0	59,526	△ 59,526	
児童手当負担金	0	56,831	△ 56,831	
陽子線治療センター運営負担金 *1	0	2,695	△ 2,695	
合 計	312,969	5,640,347	△ 5,327,377	

また、繰出基準以外で一般会計からの繰入金はなかった。